

第2回 磐井川かわづくりワークショップ 意見

開催日時：H22.3.18(木)

開催場所：一関市役所大会議室

【E グループ】

(1) 参加メンバー

E グループ 参加者名簿

氏名	所属団体等	備考
大内 健衛	NPO 北上川流域連携交流会理事	
神崎 浩之	磐井川奉賛会事務局長	
佐々木 正明	一関商工会議所	
佐藤 正昭	磐井川水天宮奉賛会会長	
千葉 登	水環境ネット磐井川代表	
金野 隆	一関市役所都市計画課	グループ進行
岩渕 佳広	一関市役所都市計画課	グループ進行補助
山口 俊哉	いであ 東北支店	グループ記録

(2) 今回の検討の流れ

時間	内容
19:00～19:15 (15分)	1. はじめに ・開会 ・第1回ワークショップで寄せられた専門的質問に対する回答 ＜熊谷課長(一関市)および槇田専門官(国交省)より＞
19:15～19:30 (10分)	2. 情報の共有、本日の作業内容の確認 ・前回WSの振り返り ・今日の話し合いの目標とゴールの説明 ・ワークショップの進め方とルールの説明
19:30～19:35 (5分)	3. グループごとの自己紹介
19:35～20:35 (60分)	4. グループごとの作業と意見出し ① 前回WSで、視点(目標)として出された意見の再整理 (似たような意見を集めて、タイトルを付けてみる作業) ② 整理されたタイトルから、検討テーマを2つ抽出
20:35～20:55 (15分)	5. グループ発表 グループで抽出した検討テーマとその理由を発表 ＜グループファシリテーターにより＞
20:55～21:00 (5分)	6. おわりに ・今後の予定 ・次回内容 ・閉会

(3) 検討概要

①前回 WS で、視点(目標)として出された意見の再整理

第 2 回磐井川かわづくりワークショップにおける E グループでは、前回の WS で、視点(目標)として出された意見を、似たような意見同士を集める作業を行い、9 つに分類し、下の表のようにテーマを付けてみました。

似たような意見同士を集めて付けられたテーマ	
1	桜並木
2	設備
3	教育・啓蒙
4	景観
5	河川敷
6	環境
7	治水
8	川への想い
9	? (分類不能)



②整理されたタイトルから、検討テーマを 2 つ抽出

9 つに分類されたテーマから、各参加者が自分が検討していきたいテーマを一人 2 ずつ選び出し、第 3 回から検討したいテーマとして、『みんなが親しめる川づくり(水に親しむ川づくり)』、『きれいな川づくり』、『桜並木と河川敷』の 3 テーマを抽出しました。

『みんなが親しめる川づくり(水に親しむ川づくり)』というテーマは、市民が集まれるような設備(トイレ、ベンチ等)の設置や川や河川敷を利用したイベントについて検討したいという想いから挙げられました。『きれいな川づくり』は、サケが戻ってくるように水質に配慮した川を作りたいということで、これにはサケが来やすい設備(護岸、魚道等)の検討も含まれます。『桜並木と河川敷』というのは、桜並木は重要な観光資源であり、堤防改修後も桜並木を残したい、そして河川敷の利用とセットで桜並木の活用を考えていきたいということで挙げられました。



(4) 今後の予定・次回内容

次回開催	2010 年 4 月 23 日(金)19:00 から開催予定です。 場所は一関市役所 2F 大会議室を予定しています。
次回内容	<ul style="list-style-type: none">・ 第 3 回ワークショップでは、E グループから抽出した 2 テーマに加え、他の A グループ、BC グループ、D グループから抽出されたテーマの中から、参加者が自分で検討して行きたいテーマを選びます。・ 検討テーマごとにグループを構成し、グループリーダーを決めます。・ 検討テーマの最小履行人数は 4 名であることが、総合ファシリテーターからのお願いです。
今後の予定	第 3 回ワークショップから第 6 回ワークショップまで、同じグループメンバーで検討を進めてゆく予定です。

(5) ワークショップ検討成果

①前回WSで、視点（目標）として出された意見の再整理

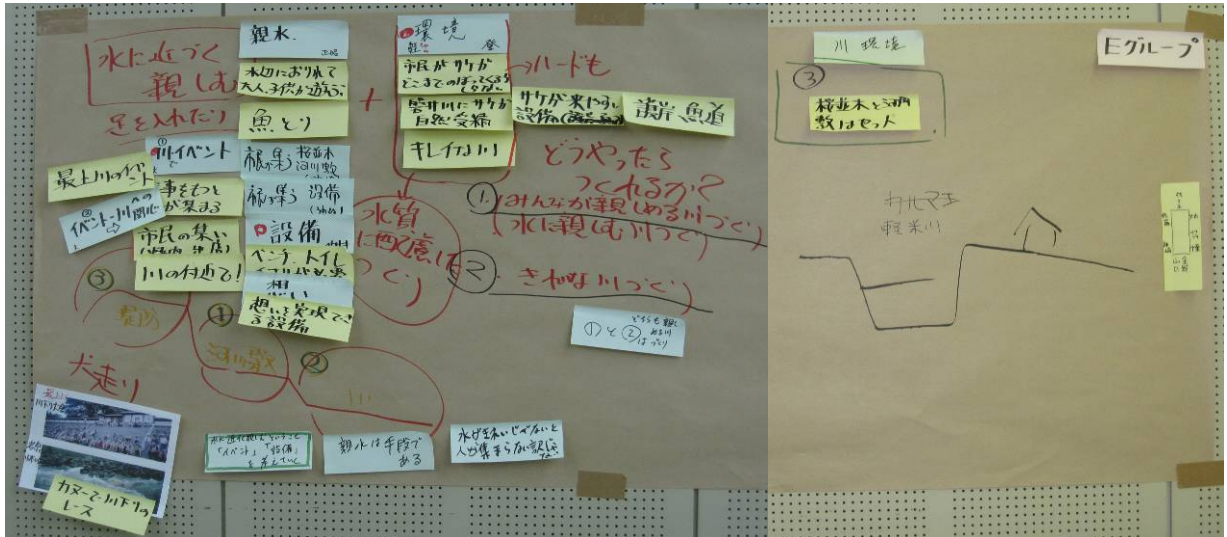
☆ 地域社会	桜並木	設備	教育・啓蒙	景観	河川敷
☆ 地域社会	☆ 桜並木や景観と調和した整備	☆ 施設整備	☆ 教育・啓蒙	☆ 景観	☆ 河川敷の活用
	● 桜と緑	● 堤防外にトイレ設置 (上の橋上流)	● 清流を取り戻すために、市民全体のモラルと教育および啓蒙活動を徹底すること	● 今の景観に代わるものが出来ればよい	● 堤防に子供達と一緒に絵を描く
	● 桜並木の復元	● 駐車場が欲しい	● 町づくりと川づくりを一緒にやる	● 石垣	☆ イベント等で使いやすい河川敷整備
	● 桜並木+広いスペース	☆ 付帯設備の設置	● 市民の意識は重要		● 公園と思ったら堤防
	☆ 心のふるさと桜並木	● ゴミ箱・トイレ・街灯の設置	● 市民の理解		● 市や市民の行事は必ず堤防を使う
	● 伐採する桜の木を使ってコースターを作りたい	☆ 利用したい、しやすい公園設備	● 市民の声を届ける		● 階段を長く続ける
	● 再度、桜を植えたい	● 周りの道路に車がスピードを出さない工夫(凹凸)	☆ 市民がやること		● 快適な花火見物
	☆ 日常的に川に親しめるように	● 噴水設備	☆ 行政がやること	● 堤防上のウォーキング、サイクリングエリアの設定	● 散歩・スポーツ・コンサートが出来る
	☆ 磐井川町の象徴	● 磐井川を中心とした町(拠点)		● 4km以上のコース設定	● 家族で遊べるような憩いの場とする
	● 観光客のため、観光の目玉に!	● 使いたくなるような設備がほしい		● 子供の遊びの広場づくり	● 親水性の高い堤防
				● 子供も大人も遊べる川、広場にする	● 交通の利便性の向上

設備	教育・啓蒙	景観	河川敷	環境	治水	川の想い	
☆ 施設整備	☆ 教育・啓蒙	☆ 景観	☆ 河川敷の活用	☆ 自然環境保全	☆ 堤防の品質	☆ マルチな堤防	☆ 川を中心(2本)とした整備
● 堤防外にトイレ設置 (上の橋上流)	● 清流を取り戻すために、市民全体のモラルと教育および啓蒙活動を徹底すること	● 今の景観に代わるものが出来ればよい	● 堤防に子供達と一緒に絵を描く	☆ 水質向上	☆ 治水	● 市民が四季の変化を楽しみにできるように(川原へ行くことを楽しむ)	● 街中の公園景観にマッチ
● 駐車場が欲しい	● 町づくりと川づくりを一緒にやる	● 石垣	☆ イベント等で使いやすい河川敷整備	● 工事による川底の砂溜りが不安。砂利底になるように	☆ 安全・安心	☆ 安らぎの生活ふれあいの環境	● 自然と人間が共生できる川
● 付帯設備の設置	● 市民の意識は重要		● 公園と思ったら堤防	● 飲んでも身体に害のない水の流れる川	☆ 水害払拭	● 街づくりの中心となる河川公園	☆ 街づくりの中心
● ゴミ箱・トイレ・街灯の設置	● 市民の理解		● 市や市民の行事は必ず堤防を使う	● 自然を大切に施設に努めて頂きたい	● 水害のリスクの低減	● 河川と地域が結びつく要素	● 川への想いを沢山述べよう
● 利用したい、しやすい公園設備	● 市民の声を届ける		● 階段を長く続ける	● 川虫、鳥が多く住めるように期待する	● 水害への防備	☆ 住民が親しむ	● 他にないものを!
● 周りの道路に車がスピードを出さない工夫(凹凸)	☆ 市民がやること		● 快適な花火見物	● 昔のような水のきれいな川に戻し、色々な生物が住めるように		● 住民が親しむことが必須	● 朝・昼・夜に親しめる
● 噴水設備	☆ 行政がやること	● 堤防上のウォーキング、サイクリングエリアの設定	● 散歩・スポーツ・コンサートが出来る	☆ 水質改善	☆ サケが戻ってくる水質維持	● 今までの以上に公園の機能を果たせるための川の整備をする	☆ 健康・スポーツ
● 磐井川を中心とした町(拠点)		● 4km以上のコース設定	● 家族で遊べるような憩いの場とする	● 水質改善	● 何年先もずっとサケが戻ってくる川	● 桜並木にのほほ	● 桜が遠く、カヌーがで、四季折々の草花が咲き、桜並木にのほほ
● 使いたくなるような設備がほしい		● 子供の遊びの広場づくり	● 親水性の高い堤防	● 自然とのふれあえる場とする	● 堤防の中の小さな堤防をなだらかにする		☆ 楽しめる場
		● 子供も大人も遊べる川、広場にする	● 交通の利便性の向上				● 子供達が安心して利用できるかわづくり

テーマ	カード
桜並木	☆桜並木や景観と調和した整備
	・桜と緑
	・桜並木の復元
	・桜並木+広いスペース
	☆心のふるさと 桜並木
	・伐採する桜の木を使ってコースターを作りたい
	・再度、桜を植えたい
	☆日常的に川に親しめるように
	☆磐井川 町の象徴
	・観光客のため、観光の目玉に！
設備	☆施設整備
	・堤防外にトイレ設置（上の橋上流）
	・駐車場が欲しい
	☆附帯設備の設置
	・ゴミ箱、トイレ、街灯の設置
	☆利用したい、しやすい公園設備
	・周りの道路に車がスピードを出さない工夫（凹凸）
	・噴水設備
	・磐井川を中心とした町（拠点）
・使いたくなるような設備がほしい	
教育・啓蒙	☆教育・啓蒙
	・清流を取り戻すために、市民全体のモラルと教育および啓蒙活動を徹底すること
	・町づくりと川づくりを一緒にやる
	・市民の意識は重要
	・市民の理解
	・市民の声を届ける
	・市民がやること
☆行政がやること	
景観	☆景観
	・今の景観に代わるものが出来ればよい
	・石垣
河川敷	☆河川敷の活用
	・堤防に子供達と一緒に絵を描く
	☆イベント等で使いやすい河川敷整備
	・公園と思ったら堤防
	・市や市民の行事は必ず堤防を使う
	・階段を長く続ける
	・快適な花火見物
	・散策・スポーツ・コンサートが出来る
	・家族で遊べるような憩いの場とする
	・親水性の高い堤防
	・交通の利便性の向上
	・堤防上のウォーキング、サイクリングエリアの設定
	・4km以上のマラソンコース設定
・子供の遊びの広場づくり	
・子供も大人も遊べる川、広場にする	

テーマ	カード
環境	☆自然環境保全
	☆水質向上
	・工事による川底の砂溜まりが不安 砂利底にならないように
	・飲んでも身体に害のない水の流れる川
	・自然を大切にしたい施設に努めて頂きたい
	・川虫、鳥が多く住めるように期待する
	・昔のように水のきれいな川に戻し、色々な生物が住めるように
	☆水質改善
	・水質改善
	・自然とのふれあえる場とする
	☆サケが戻ってくる水質維持
	・何年先もずーっとサケが戻ってくる川
治水	・堤防の中の小さな堤防をなだらなにする
	・堤防の品質
	☆治水
	☆安全・安心
	☆水害払拭
川への想い	・水害リスクの低減
	・水害への防備
	☆マルチな堤防
	・市民が四季の変化をたのしみにできるように（川原へ行くことを楽しむ）
	☆安らぎの生活 ふれあいの環境
	・街づくりの中心となる河川公園
	・河川と地域が結びつく要素
	☆住民が親しむ
	・住民が親しむことが必須
	・今まで以上に公園の機能を持たせるための川の整備をする
	☆川を中心（シンボル）とした整備
	・街中の公園景観にマッチ
	・自然と人間が共生できる川
	☆街づくりの中心
	・川への思いを沢山述べよう
	・他にないものを！
	・朝・昼・夜に親しめる
☆健康・スポーツ	
・鮎が遡上し、カヌーができ、四季折々の草花が咲き、桜並木にこいのぼり	
☆楽しめる場	
・子供達が安心して利用できるかわづくり	
?(分類不能)	☆地域社会

②整理されたタイトルから、検討テーマを2つ抽出



抽出テーマ	検討したいテーマ	理由
みんなが親しめる川づくり (水に親しむ川づくり)	親水	<ul style="list-style-type: none"> 水辺におりられて大人、子供が遊ぶ 魚とり 水に近づく、親しむ(足を入れたり)
	市民が集う(設備)	
	設備	<ul style="list-style-type: none"> ベンチ、トイレ、手摺が必要
	想い	<ul style="list-style-type: none"> 想いを実現できる設備 行事をもつと人が集まる 市民の集い(焼肉、出店)
	川でイベント	<ul style="list-style-type: none"> 川の付近で! 最上川のイベント(川下り大会) 岩泉小本川カヌーで川下りのレース
	イベント⇒川への関心	
きれいな川づくり	環境(サケ)	<ul style="list-style-type: none"> 市民がサケがどこまでのぼってくるか知らない 磐井川にサケが自然受精 きれいな川 サケが来やすい設備(護岸、魚道)
桜並木と高水敷	市民が集う(桜並木、河川敷)	<ul style="list-style-type: none"> 桜並木と河川敷はセット

以上